

京都市の学校教育の目指す姿  
 「次世代の子どもを育て、  
 未来を創造する子ども」

## 令和5年度 山ノ内学校 学校教育グランドデザイン

### 学 校 教 育 目 標

自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成  
 ～自ら考える力と自ら律する力を高める教育の創造～

### め ざ す 子 ど も 像 ( く す の き )

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ○くじけず、しなやかな子ども   | ○すすんで学ぶ子ども    |
| ○のびのびと、共に活動する子ども | ○きまりを大切にする子ども |

### 目指す資質・能力

- ①自分の考えを表現する力 ②課題解決に協働できる力 ③正解のない問いに向き合う力

### め ざ す 教 職 員 像

すべての児童が学びやすい学校を作り、すべての教職員で働きやすい学校を作る

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ○多様な児童の成長を認める教職員 | ○これからの学校教育を創造する教職員    |
| ○児童の手本となる教職員     | ○すべての児童の確かな学びに寄り添う教職員 |

### 本年度の山ノ内小学校の目指す学校像

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| ○子どもにとって、毎日行きたくなる学校 | ○保護者にとって通わせたい学校  |
| ○地域にとって、応援したくなる学校   | ○教職員にとって働きたくなる学校 |

#### 授業のユニバーサルデザイン化をめざす ICT機器の活用

- ・多様な児童の学びを保障する授業のUD化
- ・授業のUD化を通して視覚化、焦点化、共有化した授業の実践
- ・UD化の視点を取り入れたGIGA端末を活用した授業の展開
- ・授業改善とカリキュラムマネジメントの一体化
- ・ICTを活用した校務の効率化

#### 生徒指導の実践上の4つの視点を意識した取組

- ・自己存在感、自己肯定感、有用感を育む配慮
- ・多様性を認め合う共感的な人間関係の育成
- ・自分の意見や考えを自由に発表できる機会、自己決定の場の提供
- ・安全、安心して学校生活を送れる風土の醸成

#### 多様性を認める 新しい学校・学年・学級づくり

- ・多様な児童の違いを認める学校体制
- ・支援が必要な児童に対する確かな手立て
- ・多様な働き方を許容する学校文化の創造
- ・共通理解を超えた共通実践
- ・持続可能な学校教育改革
- ・主体的、対話的で深い学びにつなげるグループ学習